

「令和 7 年度 農村環境の未来を考える研修会 vol.17」を開催

11 月 10 日（月）KDDI 維新ホールにおいて、「令和 7 年度 農村環境の未来を考える研修会 vol.17」が開催されました。県内各地より多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金に取り組んでいる活動組織及び集落協定の構成員や、県・市町担当者、土地改良区などの関係者 786 名の参加のもと、下記プログラムにより行われました。



【研修プログラム】

1 開催行事	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶（山口県日本型直接支払推進協議会会長） ・来賓祝辞（中国四国農政局次長、山口県農林水産部長）
2 表彰	令和 7 年度 山口県日本型直接支払推進協議会会長賞表彰 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金部門：ツルの郷を守る会 ・中山間地域等直接支払交付金部門：福田中中山間集落協定
3 基調講演	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒトと農とクラシを考える」 一般社団法人テクノスクール・農村研究所理事長（熊本大学名誉教授）徳野 貞雄 氏
4 事例報告	令和 6 年度 山口県日本型直接支払推進協議会会長賞 受賞組織 <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金部門：八方原の環境を守る会 ・中山間地域等直接支払交付金部門：豊浦町中山間集落協定

1 開催行事



【主催者挨拶】
山口県日本型直接支払推進協議会会長
北村 経夫



【来賓祝辞】
中国四国農政局次長
古賀 徹



【来賓祝辞】
山口県農林水産部長
岡本 章生

2 表 彰

「山口県日本型直接支払推進協議会会長賞表彰」は日本型直接支払制度に積極的に取り組み、山口県内の模範となり、すぐれた活動を展開している活動組織及び集落協定を表彰するものです。本年度は「ツルの郷を守る会」（多面的機能支払交付金部門）と「福田中中山間集落協定」（中山間地域等直接支払交付金部門）が受賞されました。



（多面的機能支払交付金部門）
ツルの郷を守る会（周南市）



（中山間地域等直接支払交付金部門）
福田中中山間集落協定（阿武町）

3 基調講演

基調講演は一般社団法人テクノスクール・農村研究所（熊本大学名誉教授）の徳野 貞雄 理事長より「ヒトと農とクラシを考える」についてご講演いただきました。人口減少が起きても、地域を維持（存続）している事例について説明していただきました。



4 事例報告

事例報告では令和6年度に協議会会長賞を受賞された「八方原の環境を守る会」（多面的機能支払交付金部門）及び「豊浦町中山間集落協定」（中山間地域等直接支払交付金部門）の2団体が活動の状況や今後の展望等について報告されました。



八方原の環境を守る会（山口市）
中村代表、原田書記・会計



豊浦町中山間集落協定（下関市）
松尾事務局



令和 7 年度 多面的機能支払交付金に係る地方農政局等が行う抽出検査を実施

今年度の抽出検査は、11月12日（水）～13日（木）の2日間で実施され、周南市（2活動組織）、光市（1活動組織）、下松市（1活動組織）の活動組織が対象となりました。

この抽出検査は、中国四国農政局が多面的機能支払交付金実施要領に基づき、毎年度、県内の活動組織の中から対象組織を抽出し、多面的機能支払交付金に係る証拠書類等について検査を実施するものです。



令和6年度の実施状況が検査対象で、当日は、活動組織関係者（代表、書記、会計）及び行政担当者（県、市）が出席し実施されました。

また、昨年と同様に「会計事務の体制及び処理・確認方法」及び特定テーマとして「対象農用地の現況地目の確認・判定方法」について重点的に確認されました。

いずれの活動組織も関係書類が良く整理されており、指摘・指導事項も少なく無事に検査を終えました。

検査時に指摘・指導のあった事項を以下のとおりお知らせしますので活動実施の参考にしてください。

項目	指摘・指導内容
役員の定期的な交代	<input type="checkbox"/> 特定の構成員に負担がかかることや組織の体制強化のためにも役員は規約に基づき、定期的に交代することが望ましい。
総会の議決内容の周知	<input type="checkbox"/> 総会欠席者には総会議事録等を配布するなどして議決結果を報告すること。 <input type="checkbox"/> 総会資料には作業単価等の根拠である内規を添付し、構成員に周知すること。
会計事務のチェック体制	<input type="checkbox"/> 会計事務の担当者だけでなく複数名の役員によるチェック体制を取ること。
現金の取扱いと受領確認	<input type="checkbox"/> 不適切会計のリスク低減のため、現金を扱うことをできる限り少なくし、日当の支払いについても振込みを検討すること。 <input type="checkbox"/> やむを得ず現金で支払う場合は、従来は領収書等に受領の押印を義務付けていたが、近年受領印の偽造が容易に可能であることから、自筆サイン（フルネーム）への切り替えを推奨する。

項目	指摘・指導内容
交付金の引出し等のチェック体制	<input type="checkbox"/> 印鑑と通帳を別管理し、交付金の引出処理時は会計担当者その他の役員（代表等）が内容や金額等を確認すること。
領収書等の記載内容	<input type="checkbox"/> 請求書、納品書、領収書等の宛名は活動組織名を記載すること。（個人名、法人名等は不可。） <input type="checkbox"/> 領収書に但し書きが記載されていることを必ず確認すること。 <input type="checkbox"/> 領収書番号と金銭出納簿の領収書番号欄が合致するよう整理すること。
施設の点検・機能診断結果の整理	<input type="checkbox"/> 施設の点検（農地維持支払）、機能診断（資源向上(共同)支払）の実施後は記録表を作成し、施設の状況を整理すること。
推進活動の記録整理	<input type="checkbox"/> 「地域資源の適切な保全管理のための推進活動（農地維持支払）」は活動期間中に策定する「地域資源保全管理構想」の検討材料となるため、毎年度、活動計画書で定めた活動（農業者による検討会等）を実施し、議事録やメモを整理し記録を残すこと。
共同活動時の安全対策（保険加入）	<input type="checkbox"/> 全国的に活動中の死亡事故や怪我が多発しているため、事前点検や長袖長ズボン・ヘルメット・ゴーグルの着用など、安全管理を普段から意識づけて活動を実施すること。 <input type="checkbox"/> いざという時のために、保険（傷害、物損）の加入や緊急連絡先の作成を検討すること。特に草刈機使用時の飛び石による物損事故が多くなっているため、物損事故に対応した保険の加入を推奨する。
活動の周知	<input type="checkbox"/> 活動を実施する際に、多面的機能支払制度の活動の一環であることを構成員に周知すること。

～開催のお知らせ～

令和7年度多面的機能支払中国四国シンポジウム in えひめ

日 時：令和8年2月12日（木）

13時30分～16時30分

場 所：松山市立子規記念博物館 4階講堂

（愛媛県松山市道後公園1-30）

アクセス：道後温泉駅より徒歩約5分

道後公園前駅より徒歩約5分

※お車でお越しの際は、近隣の

有料駐車場をご利用ください

申込期限：12月19日（金）

当協議会までお知らせください



編集・発行：〒753-0079 山口市糸米2-13-35 （県土連ビル 4F 会員支援課内）

山口県日本型直接支払推進協議会

TEL 083-933-0755

FAX 083-933-0756

<https://www.tamenteki-yamaguchi.jp>